

議員（兼若 幸一）

お早うございます。4番、兼若 幸一です。

一つ、集中豪雨対策について、一つ、町施設の駐車場について、一つ、町長の時期選挙出馬について。以上、大きく3点、一問一答方式でお願い致します。

まず最初に、集中豪雨対策についてです。9月になって、局部的集中豪雨が多度津町でも見られます。10日、11日には、台風の影響もあり、急に天候が変わり大雨となりました。短時間ではありましたが、善通寺、琴平での豪雨の影響もあり、まんのう幹線用水や弘田川の水位が上昇し、一部道路は完全に冠水し、警察が見守りをしたところもあるようです。ハザードマップは、令和元年末に、香川県が発表した金倉川洪水浸水想定地域の反映に併せて、ため池の浸水想定区域を更新し、近隣自治体の災害情報をまとめた総合ハザードマップとし、今年の春に全戸配布されています。ハザードマップでは、安全とされているところでも、今回の集中豪雨により冠水したところもあるようです。そこで、次の質問をします。

一つ目、4年前とは、農地が宅地になる等の周辺環境、気候状況が変わっております。多度津町の状況に応じたハザードマップの作成をする必要があると思いますが、いかがでしょうか、お伺い致します。

総務課長（泉 知典）

兼若議員の多度津町の状況に応じたハザードマップの作成についてのご質問に答弁をさせていただきます。

議員ご質問の多度津町総合ハザードマップは、河川氾濫や土砂災害などが発生した際に想定される被害を県において調査、公表した情報を反映させたものであり、本町では、令和2年度までに蓄積された被害想定データをもとに作成し、全戸配布したものです。ハザードマップの更新につきましては、現在、掲載しているハザードの情報を含め、令和3年度に公表されている弘田川と、今年度、公表予定である桜川の浸水想定区域のデータを反映したハザードマップの作成を計画しております。また、住民の皆様方が、自然災害による被害の軽減や防災対策に御利用できるよう、ハザード情報の掲載方法等を含め、検討してまいります。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

令和3年度に公表されている、弘田川と今年度公表予定である桜川の浸水想定区域のデータを反映するというご答弁でしたが、データっていうのは、どこが公表されているのでしょうか。それともう1点、弘田川と桜川の川については、ハザードマップに反映されるようですが、多度津町内には大きなまんのう幹線用水が流れております。そのまんのう幹線用水については、反映されないのでしょうか。町独自で調査をされ、反映されることはないのでしょうか、お伺い致します。

総務課長（泉 知典）

兼若議員の再質問に答弁をさせていただきます。

桜川及び弘田川の記録とか、あれは県の河川でありますので、香川県が公表しております。もう一つ、まんのう幹線等の水路につきましては、管理が町ではあるかも分かりませんが、データの蓄積はありませんので、現在、そのデータを反映したものは、つくられておりません。しかしながら、議員の御指摘のとおり、環境の変化や、いろんな地形の変化、気候変動に伴い、災害の様式に変化が見られる状況になっております。そのために、道路の冠水や家屋の浸水被害の発生状況など、また、私どもが思いもしない場所で発生しているのも事実であります。そういうことも考えながら、今、近々でもありました、大雨等の被害状況を、どういうところが、道路冠水があった、被害があったということはデータとして、危機管理室のデータを蓄積しております。その情報を反映した町独自のハザードマップの作成も必要であるのかなってというのは私どもそう思っております。これから、いろんなワークショップもある中で、地域住民の方に、どういうところに被害があったかということ、それもデータを蓄積しながら、また新しい町独自のハザードマップも作成していることもちょっと視野に入れながら、検討してまいりたいと思います。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

はい、有難うございました。

地域住民のそういった被害の声っていうのも聞きながら、ぜひとも、多度津町独自のハザードマップを作成していただいて、町民が安心して暮らせる、いざというときには、そういったものを頼りにして一つの目安として、生活できるような、環境づくりにぜひとも努めて頂きたいと思います。

次、二つ目です。今回の冠水箇所では、冠水の要因の一つに、用水路の暗渠部分にごみが詰まり、冠水した所もあるようです。例年は、田植前に、用水浚えを得を実施しますが、今年は、水不足のため、用水に流れる水も不足しているために、用水に草が生え、用水浚えを2回実施した水利組合もあるようですが、農業従事者の高齢化、農業人口の減少により、用水管理がますます手薄になります。防災を考慮し、用水管理についてのお考えをお伺い致します。

産業課長（谷口 賢司）

兼若議員の防災を考慮した用水管理についてのご質問に答弁をさせていただきます。

議員のご質問にあります、用水浚えは、例年、田植の受水前に、農業用水の受益者である農業者を中心構成員とした、各地域の水利組合等により実施されています。農用区域においては、国の制度である多面的機能支払交付金を活用し、農業者だけでなく、自治会組織など非農家の方を含めた地域ぐるみの共同活動として、地域資源である農地や水路、農道等の保全管理に取り組んでいただいているところでございます。また、農用区域外の地域では、高齢化や混住化等により、農業従事者

の減少が顕著であり、水路清掃等の地域共同活動の質の低下が懸念されているところでございます。引き続き、他市町の優良事業を調査し、地域資源の保全管理活動に対する支援策の研究を図ってまいります。また、防災を考慮した用水管理の方法は、台風や大雨などの発生が事前に予測される場合には、町内水利組合などの関係機関に対する早期の情報提供や注意喚起を適切に行うほか、用水路などの増水に備えた、水門、樋門等の事前確認や、水量調整に係る開閉操作などを、適宜各地区水利組合に依頼しております。なお、用水路清掃などの日常管理については、これまで同様に、水利組合や自治会などの地域の共同活動での対応をお願いしたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

農用地域は、まだ、何とか、高齢者でありながらも用水浚えの出てきたりとか、何とか管理が出来ている現状ではあるんですが、農用地域以外の地域では、用水浚えが、出来ていないところもあると思いますが、そういう箇所について、何か対策等はあるんでしょうか、お伺い致します。

産業課長（谷口 賢司）

兼若議員の再質問にお答え致します。

農用地域以外の地域では、国の、現制度では、多面的機能支払交付金の交付を受けることが出来ません。しかし、農用地域外の地域でも行う農作業及び、それに伴う水路清掃等の作業は、同様のものであるという認識をしております。本町では、令和6年度末を目途に、多度津町農業振興地域整備計画の見直しを行うことにてございます。そのため、それに合わせて、支援策を農用地以外の地域の方々への支援策を検討したいと考えてございます。

以上、答弁と致します。

議員（兼若 幸一）

はい、次3点目です。

暗渠部分の管理は、危険も伴います。町が点検等、見回りをする事は出来ないでしょうか、お伺い致します。

産業課長（谷口 幸雄）

兼若議員の暗渠部分の管理は、危険を伴うことから、町が点検等見回りをする事が出来ないのかについてのご質問に、答弁をさせていただきます。

通常時の用水路の管理については、暗渠を含めた用水路全般の管理や、施設点検の実施を地元水利組合や自治会等に地域の共同活動としてお願いしております。また、施設点検時に、水路閉鎖等の異常を発見した際には、随時、担当課に連絡があり、職員による現地確認の後、水利組合などの関係者と協議し、適切な改善対策を講ずるように努めております。急な天候変更による大雨や、台風などの水防活動に

については、本町で策定している水防活動マニュアルに基づき、七つの班に分かれ、各班に規定された業務を行うこととされています。そのうち、巡視警戒班の業務に用水路などの増水状況の確認や、危険箇所への巡視が規定されております。災害時には、職員による巡視結果や、住民からの情報提供に基づき、用水路の増水や、道路冠水などの現地確認を随時行い、道路通行止めや水路の転落防止対策など、その状況に応じた対応を講じております。また、水路増水時の、水利組合の方の見回りにつきましても、生命の危険も伴うため、適切な状況判断の上、実施をお願いしているところでございます。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

暗渠部分というのは、どうしても高齢者となった水利組合の方では、非常に危険が伴います。深いところが、暗渠部分というのは多いです。そういうところをこれから、管理していくというのは非常に難しいと思いますので、例えば今、台風14号が、もう既に明日あさって月曜日と非常に日本列島を横断する、ような形で報道されていますが、そういう災害が起こる前にそういうところの点検というのは出来ないでしょうか、お伺いしたいと思います。

産業課長（谷口 賢司）

まさに今、議員さんがおっしゃったとおり、台風が近づいております。産業課といたしましては、昨日の段階で、各水利組合の方々にお願いをして、池の水位を下げてもらい、また、水路の点検をしていただき、そして、先ほどの答弁にも申し上げましたとおり、水門、樋門の管理を適切によろしくお願いするという依頼をかけてございます。台風の場合は、事前に、大体このあたりに来るのかなということが分かりますので、今回のように3日～4日前に各水利組合の方々にご協力をお願いする。そして、一方で海の方でございませけれども私方であれば、産業課であれば、白方漁港の方の陸閘をですね、今日の夕方閉めにいこうかなと思ってございませ。そのように事前にできることはしていきたいという風に考えてございませ。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

怖いものだと思います。先日の大雨で豊原幼稚園の近くの道路も膝ぐらいまで水が出て道路が冠水しておりました。近くの住民の方は、もうただオロオロとするだけで、なかなか、水が引かない状況でしたので、大変不安に思っておりました。やはりちょっとしたことでも、そういった今、水が出る、想定外のことが起きる状況ですので、是非とも、そういった防災も考慮した用水管理等について地元水利組合と、また、町と、色々連携して、対応をして頂きたいと思います、よろしくお願い致します。

次の質問に移りたいと思います。

町施設の駐車場についてです。今年の多度津夏祭りは、各種イベント、総踊りはありませんでしたが、午後8時30分からの4,000発の花火の打ち上げがありました。花火の打ち上げ前には、多度津駅から港に向けて歩く若い人が大変多く、町外から、花火目的で来られている人が、こんなに多いのかと感じました。午後7時頃には、浜街道の両側には既に多くの見物人で溢れ、工業団地入り口の道路の出店にも、2列、3列の行列が出来ておりました。町野球場は、臨時駐車場となっており、花火を見ようとする人の車の列が、ずっと続いておりました。花火が始まって、車は止められたのでしょうか。そこで次の質問をします。一つ目です。花火の時の臨時駐車場と駐車可能台数、利用台数はどれ程だったのでしょうかについてお伺い致します。

政策観光課長（土井 真誠）

兼若議員のたどつ花火大会の臨時駐車場についてのご質問に答弁をさせていただきます。

令和4年8月6日に多度津町観光協会主催で開催されました、たどつ花火大会につきましては、おかげさまで持ちまして多くの方にお越し頂き、大きなトラブルや事故等もなく、イベントを終えることが出来ました。町民の方を始め、多くの方に3年ぶりとなる多度津港での約4,000発の花火を楽しんで頂いたものと考えております。花火大会の駐車場についてですが、町施設や民間施設等をお借りし、全8ヶ所の臨時駐車場を準備致しました。駐車可能台数の合計は、約700台で、当日の花火打ち上げ時刻である20時30分には、全ての駐車場が満車となりました。

以上答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

臨時駐車場の具体的な場所及びその臨時駐車場の駐車可能台数についてお伺い致します。

政策観光課長（土井 真誠）

兼若議員の臨時駐車場の具体的な場所と、駐車可能台数についての再質問に答弁をさせていただきます。

花火大会当日の臨時駐車場につきましては、旧職員駐車場である大通り臨時駐車場が100台、多度津小学校運動場が100台、多度津町パークアンドライド駐車場が70台、町民野球場が200台、町民健康センターが50台、多度津中学校南側駐車場が100台、少林寺拳法駐車場が100台となっています。また、当日は葬儀の状況を確認した上で、白光舎の第2駐車場もお借りしました。駐車可能台数は70台です。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

はい、次の質問です。

町施設のイベント会場の収容人数と、駐車場の台数についてお伺い致します。

教育課長（竹田 光芳）

兼若議員の町施設のイベント会場の収容人数と駐車場の台数についてのご質問に答弁をさせていただきます。

教育委員会が管理する施設では、「サクラートたどつ」が収容人数1,000人、駐車場62台。なお、スポーツセンターは体育館前に62台、グリーンベルトに129台分の駐車場を整備しております。

以上、答弁とさせていただきます。

総務課長（泉 知典）

兼若議員の町施設のイベント会場の収容人数と駐車場の財政についてのご質問に答弁をさせていただきます。

総務課の方では、地域交流センターの2階ホールの収容人数につきましては、最大で240名としております。また、庁舎及び地域交流センターの来庁者用立体駐車場の駐車台数は104台となっております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

はい、次の質問です。

町施設で、イベント開催時に施設の駐車場では、十分な台数を確保出来ないで臨時駐車場を設けていますが、臨時駐車場を設けるには、どのような基準で設けられていますか、お伺い致します。

教育課長（竹田 光芳）

兼若議員の町の施設のイベント会場時の臨時駐車場を設ける基準についてのご質問に、答弁をさせていただきます。

教育委員会が管理する「サクラートたどつ」でのイベント開催時の臨時駐車場を設ける基準につきましては、明確な基準はございません。イベントの内容、過去の実績、町外からの来客数等の予測により、臨時駐車場を確保しております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

はい、次の質問です。

過去、何回もありました「サクラートたどつ」の駐車場問題です。先ほどの答弁にもありましたように「サクラートたどつ」の収容人数が1,000人、駐車場は62台、ちょっと何か間違えとん62台いうんがすごい収容人数と駐車場台数の割合が非常にアンバランスというの皆さんもお気づきと思いますが、「サクラートたどつ」は、名称を多度津町民会館にはせず、他市町の方にも利用して頂けるいうとの思いで「サクラートたどつ」にしたようですが、施設周辺に駐車場を整備し、利用促進に努めるべきと思いますが、駐車場については、どのようにお考えでしょうか、再度お伺いしたいと思います。

教育課長（竹田 光芳）

兼若議員の「サクラートたどつ」の駐車場についてのご質問に答弁をさせていただきます。

「サクラートたどつ」は、町民はもとより町外からの方も親しみやすい施設として、多くの方にご利用を頂いております。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、多くの事業が取り止めとなる状況ではありましたが、鑑賞事業として、劇団四季ファミリーミュージカルほか6事業を開催し、多くの方が来館されました。今後も優れた芸術文化の鑑賞と町民の創作活動を促進することにより、豊かな心が育つ香り高い文化のまちづくりを推進してまいります。

さて、ご質問の「サクラートたどつ」周辺に駐車場を整備し、利用促進に努めるべきと思うが、駐車場についてどのように考えるかについては、現状は、議員ご承知のとおり、大通りにあります旧職員駐車場跡地を必要に応じて、イベント開催時に臨時駐車場として利用しております。旧職員駐車場から「サクラートたどつ」までは、徒歩で来館して頂いております。駐車場の整備につきましては、「サクラートたどつ」周辺には、河川やJR多度津工場、また住宅地が密集しており、「サクラートたどつ」周辺での駐車場確保は、難しいのが現状です。これまで同様、旧職員駐車場跡地を臨時駐車場として利用していきたいと考えております。それでも駐車場の不足が予測される場合には、多度津小学校の運動場等を利用するなどの対応を考えてまいります。今後も来館者の方には、御不便をお掛けしますが、公共交通機関を利用して来館頂くなどPRも行いながら、魅力ある「サクラートたどつ」を管理運営していきたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

はい、駐車場っていうのがやっぱり非常にどういう箇所にも必要だと思います。やはり、人間っていうのは便利さを追求する。例えば今言ったように旧職員駐車場があるんですけど出来るだけやっぱり、玄関先に車を停めたい。というのが、人間的な心理だと思いますので、今後、諦めずに「サクラートたどつ」周辺に、是非とも駐車場を整備出来ないか色々検討をお願いしたいと思います。

次の質問です。町役場の立体駐車場は利用しづらいので、200円払ってでもパークアンドライドに停める人、役場まで送ってもらう人がいると聞きます。6月の古川議員の一般質問で「新庁舎が完成した後、各課の配置や機能が十分に生かされているか今後検証を行って改善は」との質問に、その後の対応として具体的には、立体駐車場の柱が認識しづらい対策として、柱にコーナーガードの設置、斜路が認識しづらい対策として反射テープの設置などの改善に取り組んだとあります。しかしながら、立体駐車場に関しては、まだまだあります。券売機が道路脇にあるので、車を券売機と並行に進入しづらく、車が斜めになるので駐車券が取りづらい。券売機

の基礎コンクリートが張り出しているのです、タイヤをこする。駐車スペースが狭いので、車の乗り降りに不便を感じる。階の連絡道路が急勾配なので、車の底をす。連絡道路幅が狭く、コーナー部で車の対向が出来ない。地域交流センターでイベントがあった時、駐車場スペースがなかった。等々のことですが、今から50年間、我慢をして使用し続けるのか、住民がこの不便さを慣れるのを待つのかではなく、改善できることは改善するのか、そういうお考えについてお伺い致します。

総務課長（泉 知典）

兼若議員の町役場の立体駐車場についてのご質問に答弁をさせていただきます。  
まず始めに、立体駐車場の発券機の駐車券が取りづらい点と基礎コンクリートが張り出している点につきましては、現在、改善方法や概算費用の算出を設計者及び施工者に依頼しているところでございます。その結果を踏まえ、財政負担も考慮の上で、安全性と利便性の向上が可能となるよう、改善を検討したいと考えております。次に、駐車スペースが狭い点と階の連絡通路の急勾配な点につきましては、限られた敷地内に必要な駐車台数を確保する必要があったため、現在のような立体駐車場として整備しておりますことから、駐車区画の再整備や勾配を改善することは施設全体の整備を伴うため、非常に困難とは考えております。次に、連絡道路の幅が狭く、コーナー部で対向出来ない点につきましては、連絡道路前に信号機を設置し、連絡道路部分は、交互通行をして頂く運用としておりますので、今後も周知に努めてまいりたいと考えております。また、先ほど議員がおっしゃられましたが、立体駐車場の柱が認識しづらいことと、道路の幅員が分かりにくいというご意見もいただいたことからコーナーガード及び反射テープを設置して、認識しやすくするという対策をとっております。最後に、イベント時に駐車スペースがなかったという点につきましては、基本計画や設計段階で必要な駐車台数を検討し、庁舎と地域交流センターで104台の来庁者用駐車場を整備しております。駐車台数を上回る利用者が見込まれる場合におきましては、町主催の行事では乗り合わせ等お願いをしているところでございますが、今後は、現在の職員駐車場や公用車駐車場の開放も含めて検討してまいりたいと考えております。立体駐車場につきましては多くのご意見や御要望を頂いておりますが、今後も庁舎及び地域交流センターをご利用頂く方々がさらなる安全性と利便性の向上に努めてまいりたいと考えております。  
以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

はい、当然お金のかかることなので一概に全面改修というのは出来ないと思いますが、出来ることは、迅速にやって頂きたいと思います。地域交流センター、役場は、6月から供用開始ということで、新しくなったのはどういうところだろうかといって町民も非常に期待をしております。ただ、車で行ったら停めにくいというのが非常に寄せられる苦情です。出来るところから改善をして頂きたいと思います。

はい、最後の質問です。

町長の次期選挙の出馬についてお伺いしたいと思います。6月の定例議会の渡邊議員の一般質問のご答弁で、町長は4期目の町長選挙に出馬表明をされました。早速、翌日に新聞報道され、町民が出馬の意向を知ることとなりました。町民の方からは「町長が3期で辞めるって、言っていたやろ」との声をお聞きしました。私は、町長からそのお言葉を直接お聞きしてはならず、言った、言わないの水掛論になりますが、先ほど言った「町長3期で辞めるって言っていたやろ」という町民の声に対しての町長のお考えをお伺い致します。よろしくお願いいたします。

町長（丸尾 幸雄）

兼若議員の次期選挙出馬についてのご質問に答弁をさせていただきます。

私が町長選に立候補した時は、非常に厳しい状況であった財政を立て直すことが急務であり、財政の健全化を早期に実現することが求められておりました。財政を立て直すには3期12年を一つの目処と考えておりましたが、まず、就任期間ありきではなく、目的を遂行出来るかどうかの方が重要であると認識しておりましたので、期限を切って3期で辞めると言ったことはありません。南海トラフのような巨大地震に備えて、町民の皆様を守ることが喫緊の課題であるため、財政状況を常に考えながら施設整備に取り組み、これまで幼稚園、小学校の耐震化や消防新庁舎、多度津中学校や白方小学校学習棟の建設、避難通路としての跨線橋の建て替え、そして今回、多度津町役場の新庁舎と地域交流センターの2つの施設を合築するという形で、同時に建設することが出来ました。そのため、財政の健全化にもう少し時間がかかるということや恒久的な財政健全化を図るために、あと1期4年の間に礎を築きたいと考えております。町民の皆様からは、もっと続けてやって欲しいという声も頂いており、皆様からの温かいお言葉を励みに、今後も多度津町の発展のため、頑張りたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

はい、再質問をさせていただきます。

先ほど私が質問しました。「町長は3期で辞めるって、言よったんちゃうか」とか、前町長の多選を非難をしていた。というお話もお聞きします。先ほど言ったように私は直接、丸尾町長からお聞きした訳ではないので、また、言った言わないの水掛論になるんですが、そういう、多選についての批判、あと、町長は町民の皆さんからは、もっと続けてやって欲しいという声をお聞きするという、ご答弁だったんですが、申し訳ないんですが、私の方にはそういった声は届いておりません。

「3期で辞める言よったんちゃうか」というのが、声が届いております。それに対しての再質問をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

町長（丸尾 幸雄）

前町長のお名前が出ましたので、ちょっとそのことについてお話をさせていただきますけども、前町長の場合は4期でやめるって言うておりました、公言してました。それなのに5期やりました。そして、6期目も出るって表明をしました。それは多選の弊害じゃないんじゃないか、それで私が立候補致しました。それは多選の弊害ということだけで、立候補したのではなくて全てのことを網羅するとこれは多選の弊害ではないのかな。それは、財政の非常にやや危い危機を感じていました。ご存知だとは思いますが、平成17、8年の頃、前の前町長の時代に今もう皆様方には、将来負担比率のことが今度190くらいになるということで、問題視されております。それはもっともなことです。しかし、その当時は、350が限度のところを318.5%という、とても考えられない、将来負担比率の数字がありました。そのときに行政側、私はその当時は町会議員でしたから、兼若議員と同じように町議会議員の立場で色々と物事を考えておりました。その時に、町行政がもう何も出来ないから何もしない。財政が困難だから何もしないということで、住民サービスのストップ、低下を住民サービスが低下してでも、これはもう全てをやめるんだ。その時の町民の怒りというのが、凄まじいものがありました。そしてその時、私は町会議員として、その場でおりました時に、こういう状況を作ってはならない、これは絶対に改善していかなければならない。何をするにも財政の健全化がまず1番なんだ、そういう今の私の考え方、基本的な物事の捉え方というのは、その時の経験を基にしております。それで、どうしてももう、この状況を変えなければ、住民サービスが低下してでもしょうがないっていう風なそういう状況は絶対に変えなきゃいけない。そういう中で、私が立候補を決めた訳であります。その時は3期、4期云々ということ、段階ではなくて、5期をやってなおかつ6期目もやるっていうので、そのような状態を改善をすると。財政状況の改善とか、それから住民サービスの向上とかそういうことを改善するということを表示しないままで、今のままの状態でも6期目もやるということに関しましては、少し抵抗がありました。その当時、まだまだ、他にも問題がいっぱいありました。環境課の中で大きなトラブルが起ってました。そのトラブルも何も解決しないまま、そのままずるずると行っておりました。そのことも解決しなきゃいけないのに、これは早く手を打たなきゃいけないということで、私が立候補させて頂いて、その後すぐに、環境課の問題も解決を致しました。そして、私の施政方針にもありますように財政の健全化というのをまず一番に掲げて、今の財政の立て直しということを行いました。そしてそのために、私も自分の歳費とか、また、交際費とかそういうものも削減するということを提言をさせて頂いて、自分が先頭に立って、行財政改革、行おうという姿勢を前面に出してまいりました。そういう中で、今回私の、今申し上げましたように、私の最大の役目、責務というのは財政の健全化だと考えております。今もスムーズに、今まで行ってこれました。これは町議会の皆様方また町民の皆様方のご理解とご協

力の賜物ものだと心から感謝をしております。ここへ来て、南海トラフの引き起こす大地震というのが、喫緊に迫ってまいりました。なおかつ、それ以上に30年間で80%もの確率ということが公表されると。これは今までと同じように財政の健全化を守りながら、一つ一つ施設整備を行っていくのでは、間に合わないんじゃないか。ということを感じました。それで、少し、無理をするようなことになりましたけども、この役場庁舎とそれから、地域交流センターの合築するというところで、建て替えを早期に行わなければならないという考えの中で、建て替えを行いました。少し、財政が健全化から離れたとっております。そして、それをこの後の1期4年の間に出来るだけ改善をしていきたい。そして元の私が最初に、目標と致しました財政の健全化というものを確実なものにして、また、そのためには、恒常的な財政の健全化を目指すために出来ることは全てやっていきたい。そういうことを基礎だけは行った上で、次の方にバトンタッチをしていきたいと考えております。以上、長々と答弁させて頂きましたが、今までの私の気持ちを縷縷お話をさせて頂きました。

答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

はい、町長の思いをお聞き致しました。確認です。あと1期4年ということでしょうか。お伺い致します。

町長（丸尾 幸雄）

言った言わないということになったらいけませんので、今私が言いましたこと。それは、確実に守っていこうとっております。

以上で答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

はい、有難うございました。1期4年、あとは後進に譲ると捉えましたので、はい。

以上をもちまして4番、兼若 幸一、一般質問を終わります。有難うございました。